


# 令和2年度 福生市立学校 学校経営方針

学校名 福生市立福生第二小学校

校長名 湊

仁 

## 教育目標

人権尊重の精神を基盤として、児童に豊かな心、確かな学力、健やかな体の調和を重視した「生きる力」を育成するため、次の目標を定める。

(◎印は、本年度の重点事項)

○よく考える子      ◎思いやりのある子      ○体を大切にする子

## 1 目指す特色ある学校像

児童、保護者、教職員、地域の方それぞれ「みんなが楽しくなる学校」を目指す。

| みんなが楽しくなる学校 Withチーム二小                                   |   |   |  |
|---|---|---|--|
| 児童にとって  | 保護者にとって   | 地域にとって  | 教職員にとって  |
| 「楽しいがあふれる学校」<br>◎学習がわかる、できるから楽しい。安心できるから楽しい。友達がいるから楽しい。 | 「安心と感動がある学校」<br>◎子供を二小に通わせることができ、この地域で育てることができて楽しい。 | 「なくてはならない地域の拠り所である学校」<br>◎子供が元気だから楽しい。元気がもらえるから楽しい。 | 「仕事に喜びとやりがいのあふれる学校」<br>◎子供の成長を保護者・地域・全職員で喜び合えるから楽しい。 |

※児童・保護者・地域・関係機関・教師が「With」でつながる「チーム二小」

## 2 学校経営の目標

### (1) 目標に近づくための要素

以下の要素を具体的に実行する手立てを講じて目標達成に近づける。

- ① 主体的である      ② 具体的目標(ゴール)の設定      ③ 実行力(計画性・柔軟性)
- ④ 信頼関係の構築      ⑤ 児童理解      ⑥ 組織力・チーム力・一貫した指導
- ⑦ 教師力・専門性の向上      ⑧ 人間性を磨く

### (2) 本年度の目標

- ◎ 本年度の目標の達成に向け、全教職員による創意工夫を活かし、活力ある教育活動の展開を目指す。
- 安心・安全を最優先し、新型コロナウイルス感染症予防対策を徹底すると共に柔軟かつ適正な教育課程の編成・運用に努める。
  - I 教育目標の重点を「思いやりのある子」として、豊かな人間関係を形成する力を育む。各教育目標達成への手立てを具体化し、計画的推進を図る。
  - II 学校組織運営力を高め、チーム力を発揮し、活発な教育活動を展開する。
  - III 保護者・地域との協働的な教育活動の重視し、積極的に繋げていく。
  - IV 教職員の専門性の向上、働き方改革による仕事の質の向上を図る。

## 3 目標達成に向けての課題

### (1) 教職員一人一人が経営方針に基づいて実践をする。

「2 学校経営の目標(1) 目標に近づくための要素」に具体的な手立てを講じて、日々実践し、目標達成を目指す。

### (2) 「授業力」・「チーム力」を磨く

- ① 授業力向上(「わかった」「できた」手応えのある授業)
- ② 学校組織運営に基づいて、チーム力を生かし、教育活動に活性化する。

## 4 経営の具体策

- ◎ 安全・安心を最優先し、国・都・市の通達・指示のもと、新型コロナウイルス感染症予防対策を徹底する。関係機関との連携・協働、柔軟な対応や新たな発想・創意工夫により、着実に教育活動を前進させながら「経営の具体策」を講じていく。

## I 教育目標の達成に向けての具体的方策

### (1) 重点「思いやりのある子」(人間関係形成力)の育成

- ① 相手意識を高め、他者を思いやる豊かな心の育成
  - ・相手を大切にしようとする気持ちの良いあいさつや言葉遣い・相応しい態度の育成
  - ・公共時間における敬称使用と公共マナーの定着
  - ・SNSルールの活用や啓発・道徳科研究(H30)の継承と充実
- ② 気持ちの良い生活習慣の確立(ふっさっ子スタンダード)
  - ・二小の規律「きりっと生活」とそろえる取組の全学年実施
- ③ 児童の自己肯定感・意欲を高め、主体性の伸長
  - ・児童の主体的な行動を認め支える特別活動の充実
- ④ 豊かな人間関係を育むための多様な関わりや異年齢、異校種との交流活動の充実
  - ・縦割り班活動・異学年交流による主体性の伸長、リーダー性や協力的態度の育成
  - ・幼保小や小中の連携・交流活動を取り入れ、円滑な教育活動の継承や連携
- ⑤ 安心・安全の保障と信頼関係の構築
  - ・いじめ・不登校0を目指す指導・支援。未然防止・早期解決や関係機関との連携
  - ・児童理解の充実、児童及び家庭支援のための関係機関との連携の推進
  - ・「人権教育」「防災教育」「防犯教育」「安全教育」の推進と関係機関との連携

### (2) 「よく考える子」(問題解決力)の育成

- ① 確かな学力の定着：市学力調査データの活用、ICT機器の積極的活用、学習習慣の確立、既習事項の活用や基礎・基本の学力定着、応用発展学習への取組
- ② 学びのプロセスの重視：「主体的・対話的で深い学び」を生み出す授業の創造。  
総合的な学習の時間を軸とした校内研究の推進：探究的な見方・考え方を伸ばす授業や表現力を鍛える学習や場の工夫。「課題設定」「課題解決」能力を育成するCSの特色を生かした地域協働学習の展開
- ③ 読書教育の推進：読書目標の設定・図書館司書・中央図書館との連携等の多様な取組

### (3) 「体を大切に作る子」(心身健康力)の育成

- ① オリンピック・パラリンピック教育の推進
  - ・アスリート・パラリンピアンを招聘してスポーツへの関心・障害者理解の向上
- ② 体力調査結果に基づいた「体力向上推進計画」の作成と推進
  - ・児童の体力の向上を図る体育の授業の質的改善
- ③ 健康教育の推進・食育の推進

## II 学校組織運営力を高め、チーム力を発揮し、活発な教育活動を展開

- (1) チーム力を活かし、連携・協働による教育活動の充実
- (2) 校内研究 OJT 教員の特性や持ち味を生かす、還元する高め合い、学び合い。

## III 保護者・地域との協働的な教育活動の積極的活用や充実

- (1) わかりやすい教育活動情報発信(HP・便り・保護者会・面談等)と家庭との連携・協働
- (2) CSおよび学校支援地域組織「二小くまっ子応援団」との連携による「学びのプロセス」を重視した教育活動の充実

## IV 専門性の向上、働き方改革の推進による教職員の心身の健康管理と働く意欲の向上

- (1) 新学習指導要領完全実施に伴う教育・学力観を推進
  - カリキュラムマネジメントの推進
  - プログラミング教育(論理的思考)国際理解教育と外国語・外国語活動の積極的推進
- (2) インクルーシブ教育のより一層の推進 特別支援教育の充実と展開
  - ① 特別支援学級「くまがわ学級」および特別支援教室「かわせみ教室」の細やかな指導・支援・専門性向上
  - ② ソーシャルスキルトレーニングの充実、SCや巡回心理士、関係機関との連携、細やかな支援体制の充実
- (3) 働き方改革の推進
  - ① 法令に基づく労働状況の改善、勤務時間の把握、業務の効率化の推進
  - ② 労働環境整備、業務内容・行事等の精選・見直しの実行
  - ③ 心身ともに健康で、働く意欲につながる雰囲気づくり

## 5 年度末のチェックポイント

- I 教育目標達成へ向けての具体的方策がたてられ推進できたか。
- II 学校組織運営力を高め、チーム力を発揮し、活発な教育活動を展開したか。
- III 保護者・地域との協働的な教育活動の積極的活用や充実を図れたか。
- IV 専門性の向上、働き方改革の推進による教職員の心身の健康管理と働く意欲の向上に繋がったか。